

<取材のお願い>

2025年2月3日

岐阜大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）

バングラデシュの大学生が牛の人工授精技術を体験

～岐阜大学の学生と共に畜産における繁殖技術を学ぶ～

岐阜大学では、2月10日（月）～2月19日（水）、バングラデシュのパトゥアカリ科学技術大学より大学生5名、大学院生2名、教員1名、計8名を招へいし、「畜産における人工授精技術」をテーマに科学技術研修プログラムを実施します。

今回来日するのは、獣医畜産学部に所属する学業優秀な学生たちです。

バングラデシュでは家畜の繁殖技術が立ち遅れています。一方、日本では家畜の繁殖技術（特に凍結精液による人工授精）が畜産において確立し、法整備されています。

今回の受入れ機関である岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科は、獣医学教育として、家畜の繁殖技術の講義や実習を行っています。

本プログラムは、日本における牛の繁殖技術の中心的技術である直腸検査法および、精液の一般正常検査法と凍結保存法を実習し、習得することを目的とします。

具体的には講義の他に、同大学共同獣医学科で使用している牛を用いた直腸検査、種雄牛の精液を用いた一般精液検査、特殊検査（研究レベル）、凍結保存、人工授精の実習を行います。さらに、研究室の見学や、岐阜大学の学生と今後の共同研究に関するディスカッションをします。また、金華山（岐阜市）、岐阜大仏（正法寺、同市）、白川郷（大野郡白川村）などを訪問し、日本の文化に触れる機会も設けました。

本プログラムをきっかけに、招へい者の家畜繁殖技術の向上および、バングラデシュにおける家畜繁殖に関する教育研究の発展に寄与する他、将来、両大学の共同研究や国際頭脳循環が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、バングラデシュの学生が牛の繁殖技術の実習を行う様子、研究室を見学する様子、日本の学生とディスカッションをする様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の村瀬哲磨教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義「家畜の繁殖技術」 ●実習「牛の人工授精」ほか ●研究室訪問
●共同研究に関するディスカッション ●エクスカージョン

【実施場所】 岐阜大学応用生物科学部、同学部附属岐阜フィールド科学研究教育センター他

【研修日程概要】

2月10日(月)	午前：来日 午後：岐阜大学到着
2月11日(火)	午前：オリエンテーション、研究室見学(岐阜大学応用生物科学部) 午後：講義「家畜の繁殖技術1・雄の繁殖生理」(同上)
2月12日(水)	午前：講義「家畜の繁殖技術2・精液検査法」(同上) 午後：実習「牛の精液検査」(同上)
2月13日(木)	午前：講義「家畜の繁殖技術3・人工授精」(同上) 午後：実習「牛精液の凍結保存」(同上)
2月14日(金)	午前：講義「家畜の繁殖技術4・受精卵移植とそのほかの発生工学的技術」(同上) 午後：実習「凍結精液の融解後検査、特殊検査法」(同上)
2月15日(土)	午前：エクスカージョン(岐阜市内：金華山、岐阜大仏(正法寺)) 午後：同上(岐阜市内：長良川うかいミュージアム)
2月16日(日)	終日：白川郷見学(岐阜県大野郡白川村)
2月17日(月)	午前：動物発生工学研究室の見学(岐阜大学応用生物科学部) 午後：実習「牛の直腸検査」(同上)
2月18日(火)	午前：実習「牛の人工授精」(岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学研究教育センター) 午後：質疑応答、ディスカッション(同上)
2月19日(水)	午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

岐阜大学

(担当：村瀬)

■国際青少年サイエンス 交流事業(さくらサイエンスプログラム)に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form (担当：太田)